

キャラクター名
クルト=ローエン

プレイヤー名

種族	レプラカーン	種族特徴	暗視、見えざる手、姿なき職人		
生まれ	野伏	性別	女性	年齢	16
冒険者Lv	9	経歴	大きな失敗をしたことがある		
経験点	370		死者と会話したことがある 未だ叶わない夢がある		

技	12	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	8	7		27	4
体	4	敏捷度	6	2		20 + 1	3
		筋力	8	1		13	2
心	7	生命力	7	2		13	2
		知力	6	10		23 + 2	4
		精神力	6	2		15	2

技能	Lv.	技能	Lv.
マギテック	3	ウォーリーダー	4
スカウト	7		
レンジャー	8		
エンハンサー	2		
バード	1		
アルケミスト	9		

戦闘特技	
トレジャーハント	2120 p
ファストアクション	2123 p
治癒適性	2122 p
不屈	2123 p
スローイング	1B30 p
両手利き	1B32 p
連続賦術	1B32 p
精密射撃	1B30 p
双撃	1B30 p
	p
	p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語		○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ラビットイヤー	鉄壁の防陣Ⅱ：鉄鎧
ビートルスキン	鉄壁の防陣Ⅱ：堅体
レジスタンス	
パラライズミスト	
クラッシュファンング	
ヴォーパルウェポン	
ミラーージュデイズ	
リーンフォース	
インティグブースト	
インサイクパディア	
バインドアビリティ	
パークメール	
怒涛の攻陣Ⅱ：旋風	
怒涛の攻陣Ⅱ：烈火	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク			
鎧	ハードレザー	筋力	回避力	防護点	
盾		13	0	4	
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能					合計値
					0 4

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
戦旗槍：鉄壁の防陣	1H投	10	-2	2d+ -2	10	0	15										
ベース：ショートスピア 加工：戦旗槍																	
戦旗槍：怒涛の攻陣	1H投	10	-2	2d+ -2	10	0	15										
ベース：ショートスピア 加工：戦旗槍																	
カードシューター				2d+ 0		0											
ハンドガン型の<アルケミスト> 銃術の射程+10m 1Hだがホルスターがない				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	21 m	63 m

回避	防護点
2d+ 0	4

HP
42

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	3	7			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 10

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 11	2d+ 11

MP
26

装備品	説明
頭 マギスフィア/小	OP[1/1]
耳 うさぎのピアス	聞き耳+2
顔	
首 ポーションインジェクター	補助動作で仕込んでいたポーションを使用
背中 ウェポンホルダー改	補助動作で装備変更可能(収納二個)
右手 敏捷の指輪	
腰 多機能スローワベルト	
足 スローワベルト	『ディスプレイサー・ガジェット』効果
その他ウェポンホルダー	補助動作で装備変更可能(収納一個)

装備品	説明
左手 知力の腕輪	
マギスフィア/大	OP[2/3]
ウェポンホルダー	補助動作で装備変更可能(収納一個)

<p>— その他メモ —</p> <p>13歳で頭角を表した、双方に綺麗な青い瞳を宿した二丁マギシューターのレプラカーン。腕が立ったのと、本人のつよい希望で成人になる前に冒険者として登録してもらった。そのPTにはスカウト同士でよく一緒に行動し親友とまで言える仲間がいた。名前は「ジニア・リネアリス」ある日、クルトが特技で姿を消し先の偵察に向かった際、何もなかったためこの先は安全だったと判断。戻ったあとそう伝え、一行は奥に進むことにした。…だが既に術中にはまっていた。安全だと思った場所は敵陣に囲まれ、全滅は避けられない状態に</p> <p>みんなが次々と倒れていく中で…体が小さかったクルトは奇跡的に一人だけその場から逃げることができた。右目を深く損傷し、もう治癒も効かなくなった状態で。なくなった目は魔法で代わりも作れるだろう、例えただの義眼でも前の目と同じ色には出来ただろう。ただ、あの時救えなかった皆と…自分の罪を忘れないために自分の瞳と違う色…真紅の義眼を選択した。</p>	<p>自動失敗 チェック</p> <p>□□□□⑤</p> <p>□□□□⑩</p> <p>□□□□⑱</p> <p>□□□□⑳</p> <p>□□□□㉕</p> <p>□□□□㉙</p> <p>□□□□㉚</p>
--	---

